

2025年10月16日 発行

第2号

工務部会 こうむ NEWS

JR東労組（東日本旅客鉄道労働組合）

工務部会

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-1

代々木総合事務所5階

NTT 03-5315-0941 JR 058-4112

発行人 杉本博輝 発行 編集委員会

第37回定期委員会で

出された特徴的な意見



施策

人事賃金制度の見直しは世代間の格差を助長する不利益変更になりかねない！社員をどこまで酷使できるかという会社の意図が表れている。どんな施策でも取敢えずやってみようという姿勢で会社は施策を強行するが、何かあったときに対する対策も説明も足りていない。何かあってからでは遅いのだ！



組織強化・拡大

会社の対抗馬としてだけの代表選立候補ではなく、なぜ東労組から立候補するのか。応援してくれる未加入者の輪をいかに広げていくかを改めて考え取り組み、得票を増やすことができた！

再加入を実現できたのは、相手への諦めない熱意と仲間が絶えず背中を押してくれたから。楽しいだけの関係ではなく、相手の本音と向き合い話をしていく事が大切。未加入者に組合に戻ってこいと言えない、勧められない自らを捨象して捉え返してみよう。

安全

職場で汽笛吹鳴事象が発生したときに、発生させた人物像にばかり目がいき、事象にも当事者にも、職場にも向かうことをしなかった。命を失いかねない事柄だという気づいたのは一週間後に待避誤りが発生したとき。事象が起きたらすぐに原因究明を行い、安全意識を高めることができていたら、事象を防げたかもしれない。事故事象を放置してはいけない！職場で事故を防ぐ。仲間の命を守るのは、自分自身だという気持ちで改めて原因究明議論と創り出していく！

新幹線

保線業務・組織の見直し、スマートメンテナンス化がスタート。全ての不安が払拭できた訳ではない。新たに発生する業務、一気通貫の仕事の進め方に不安を感じる。保守用車のトラブル時、特に油漏れなど。対応に追われた状態で定期検査が法定通りに実施できるか？現場は混乱する。

